Agilent Technologies

2020 年 3 月 18 日

アジレントテクノロジー株式会社

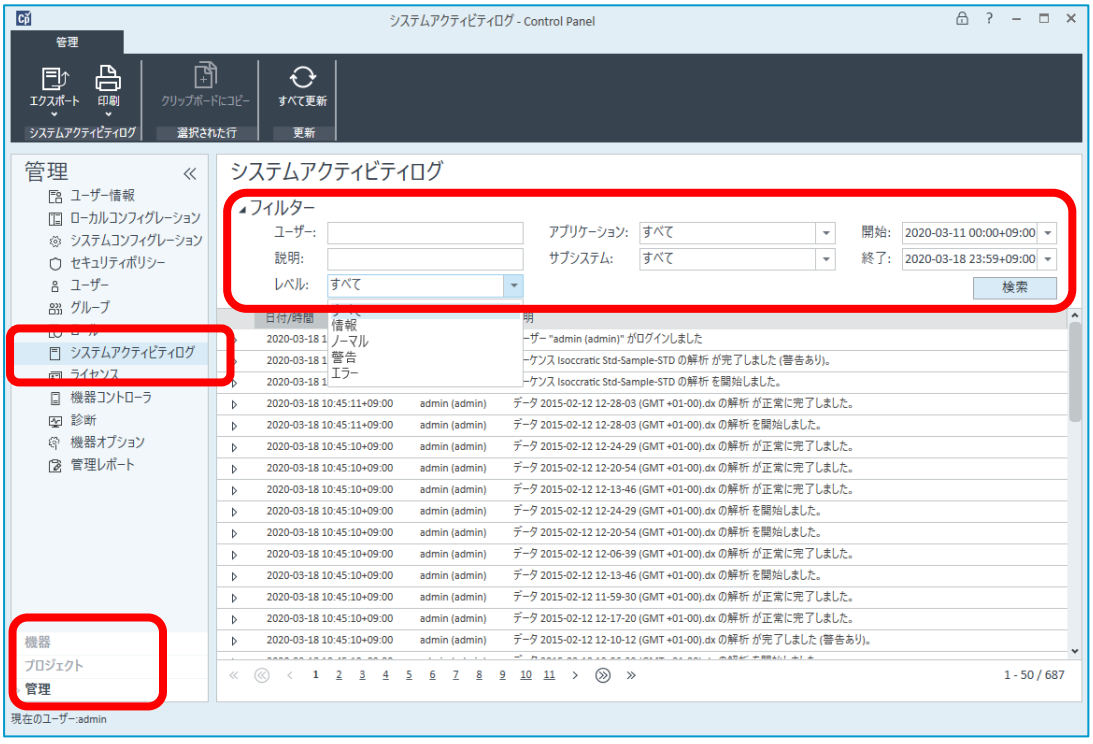
OpenLab コントロールパネルでのログ採取手順について

1. アクティビティログの採取手順

(ア) OpenLab コントロールパネルを起動します。

① 該当のアイコンから起動します。 

② 管理 ノードから、「システムアクティビティログ」を選択します。

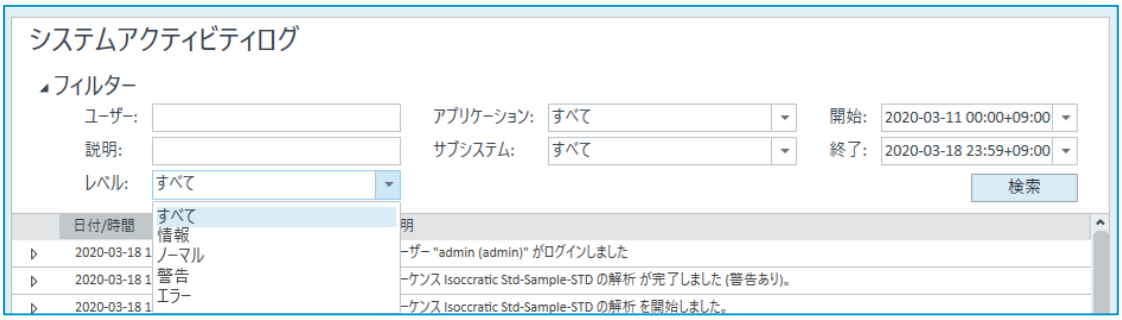


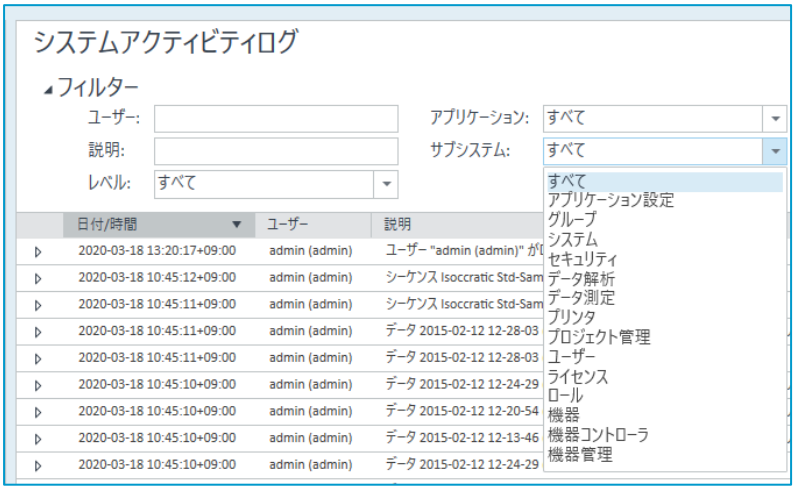
(イ)「フィルター」で条件を設定します。

① 「ユーザ名」、「レベル」、「アプリケーション」、「サブシステム」の各項目を必要時に設定します。

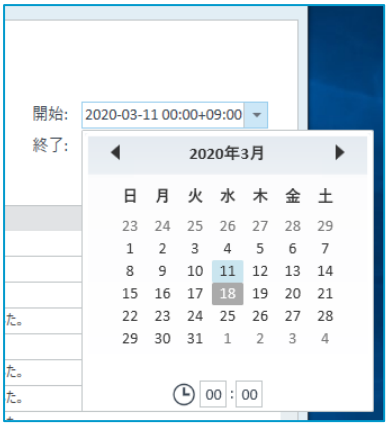
② エンジニアから特段の指定がない場合は、ユーザ、説明は空欄のままで結構です。

③　レベル、アプリケーション、サブシステムは、エンジニアから特段の指定がない場合は、「すべて」のままに設定します。



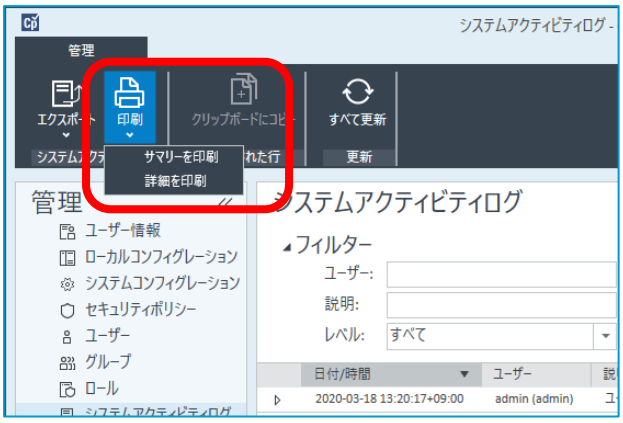


④　「開始」・「終了」の日付は、該当する事象の前後を含む期間を設定します。

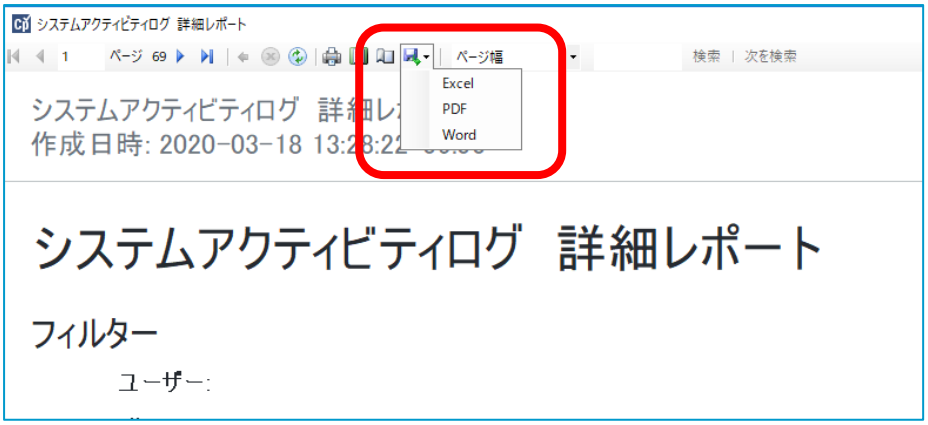


(ウ) 印刷を実行します。

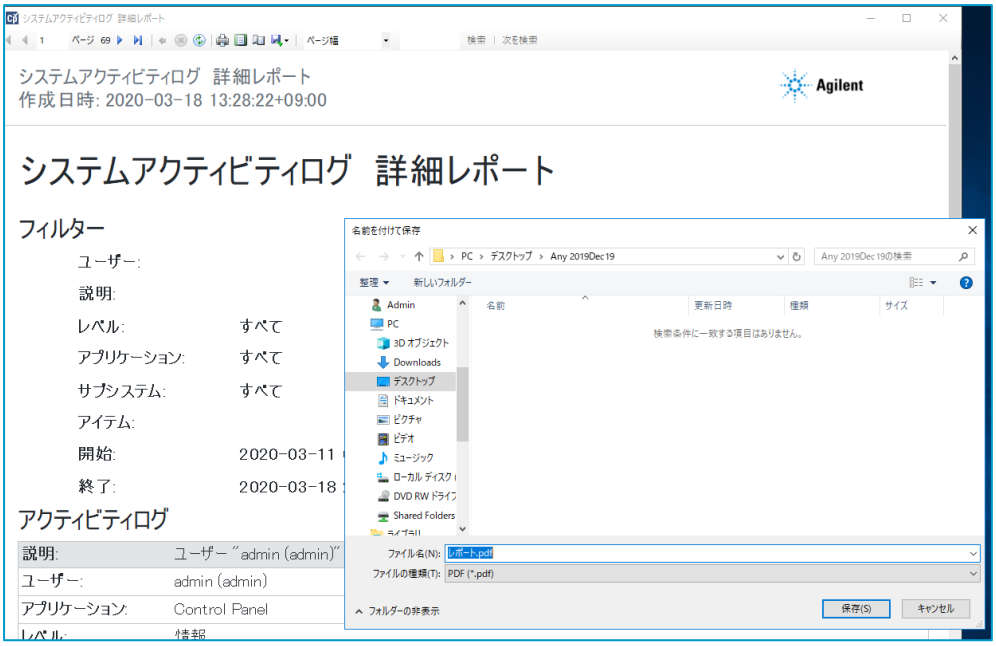
① ツールバーから、「印刷」ボタンのプルダウンを開き、「詳細を印刷」を実行します。



② システムアクティビティログの詳細レポート 画面が開いたら、保存 ボタンから「PDF」を実行して、ログを PDF ファイルとして保存します。



③ ログをデスクトップなど適切な場所に保存します。



④ 「閉じる」ボタンを実行して、システムアクティビティログの詳細レポート 画面を閉じます。

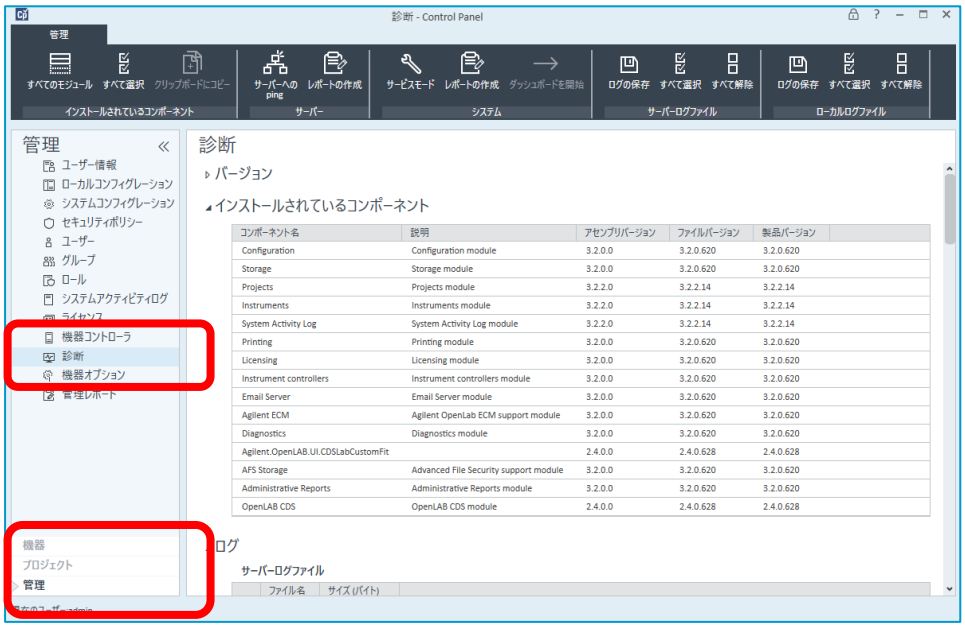
⑤ 保存した PDF ファイルのログを送付・アップロードにて弊社にご提供ください。

2. 診断ログの採取

(ア) OpenLab コントロールパネルを起動します。

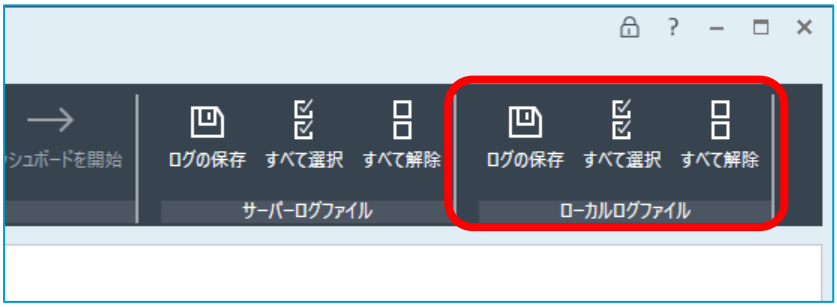
① 該当のアイコンから起動します。 

② 管理ノードから、「診断 」を選択します。

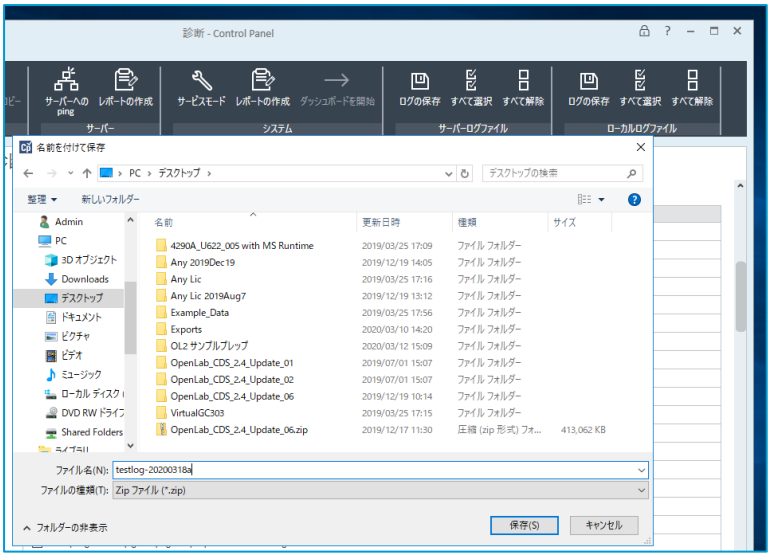


(イ) ローカルログの保存

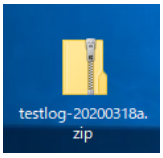
① ツールバーで、「ローカルログファイル」より、「すべて選択」ボタンを実行します。



② 「ログの保存」ボタンを実行して、デスクトップなどへ保存します。



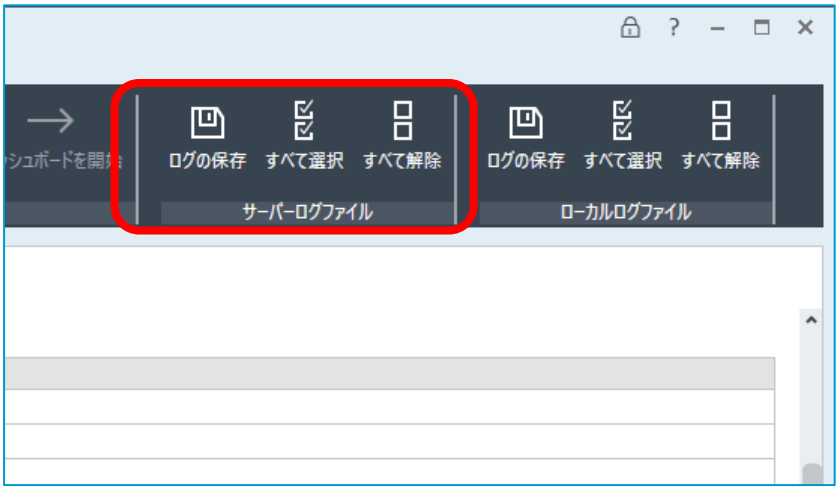
③　ログが圧縮ファイルとして保存されますので、弊社宛てに送付・アップロードを御願いいたします。



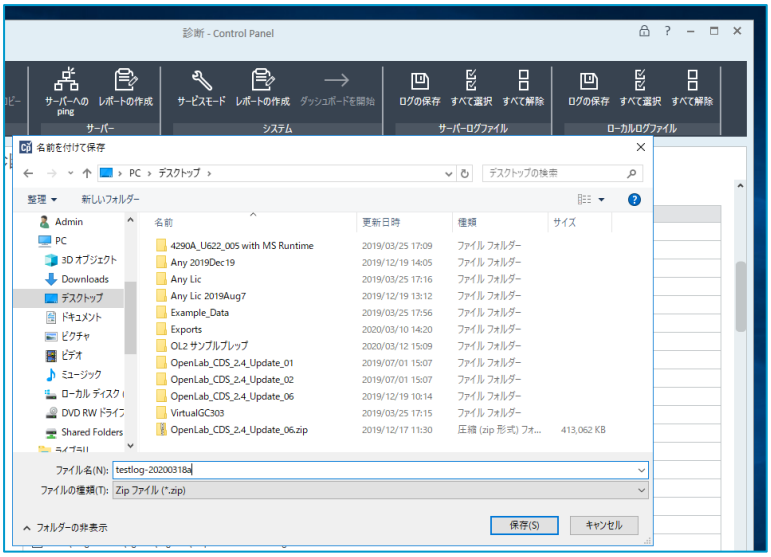
④　ファイル容量が巨大な場合もありますので、その際は担当エンジニアとご相談下さい。

(ウ) サーバログの保存

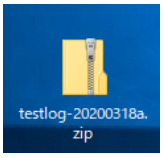
①　ツールバーで、「サーバログファイル」より、「すべて選択」ボタンを実行します。



②　「ログの保存」ボタンを実行して、デスクトップなどへ保存します。



③ ログが圧縮ファイルとして保存されますので、弊社宛てに送付・アップロードを御願いいたします。



④ ファイル容量が巨大な場合もありますので、その際は担当エンジニアとご相談下さい。

以上